



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月10日

上場会社名 日産化学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4021 URL <https://www.nissanchem.co.jp/>
 代表者（役職名）取締役社長（氏名）八木 晋介
 問合せ先責任者（役職名）財務部長（氏名）野村 浩司（TEL）03-4463-8401
 半期報告書提出予定日 2025年11月11日 配当支払開始予定日 2025年12月8日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	130,094	10.1	29,598	4.4	29,788	6.6	22,827	11.2
2025年3月期中間期	118,185	11.8	28,344	17.6	27,945	6.7	20,522	5.3

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 25,943百万円 (39.1%) 2025年3月期中間期 18,644百万円 (△17.4%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2026年3月期中間期	円 銭 168.45	円 銭 —
2025年3月期中間期	円 銭 148.78	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期中間期	百万円 322,238	百万円 241,366	% 73.9
2025年3月期	百万円 330,763	百万円 236,180	% 70.5

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 238,015百万円 2025年3月期 233,291百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 70.00	円 銭 —	円 銭 104.00	円 銭 174.00
2026年3月期	円 銭 —	円 銭 70.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2026年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 110.00	円 銭 180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日公表の「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」も合わせてご覧ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	272,200	8.3	59,000	3.8	59,000	1.7	44,000	2.2	328.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日公表の「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」も合わせてご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	136,800,000株	2025年3月期	136,800,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	1,944,827株	2025年3月期	517,787株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	135,511,720株	2025年3月期中間期	137,933,538株

※当社は、2019年7月30日の取締役会決議に基づき、「株式給付信託(BBT)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。期末自己株式数に含まれる当該自己株式数は、当中間連結会計期間末において、132,200株です。また、期中平均株式数から控除した当該自己株式の期中平均株式数は、当中間連結会計期間において、134,350株です。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

(決算説明資料の入手方法)

2025年11月10日(月)に、決算説明資料を当社ホームページに掲載いたします。また当日開催する機関投資家・アナリスト向け説明会の説明内容(音声、トランスクリプト)については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
(4) 利益配分に関する基本方針	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2025年4月1日～2025年9月30日）の世界経済は、生成AI関連向けの活発な投資や各国における財政・金融政策により下支えされましたが、米国による広範な関税措置などを背景に、依然として不透明な状況が継続しました。このような状況のもと、当社グループの事業につきましては、化学品セグメントは、基礎化学品、ファインケミカルともに増収となりました。機能性材料セグメントは、半導体材料が好調に推移したことに加え、ディスプレイ材料および無機コロイドが増収となりました。農業化学品セグメントは、国内、海外向け農薬ともに増収となりました。ヘルスケアセグメントは、減収となりました。

この結果、当期間における業績は以下の通りとなり、売上高、各利益ともに前年同期および5月に発表した業績予想を上回りました。

(単位：百万円、百万円未満切捨て)

	2025年3月期 中間 (実績)	2026年3月期 中間 (実績)	前年同期比 増減	2026年3月期 中間 (業績予想)	業績予想比 増減
売上高	118,185	130,094	+11,908	121,900	+8,194
営業利益	28,344	29,598	+1,253	28,300	+1,298
経常利益	27,945	29,788	+1,843	27,100	+2,688
親会社株主に帰属する 中間純利益	20,522	22,827	+2,305	20,600	+2,227

セグメント別概況は以下のとおりであります。

化学品セグメント

基礎化学品では、高純度硫酸（半導体用洗浄剤）、尿素・「アドブルー®」（高品位尿素水）が増収となりました。ファインケミカルでは、ファインオキシコール（化粧品原料等）、環境化学品（プール・浄化槽用殺菌・消毒剤等）が増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は188億30百万円（前年同期比9億78百万円増）、営業損失は97百万円（同1億95百万円改善）となりました。業績予想(注)比では、売上高、営業利益ともに3億円の下ぶれとなりました。

* アドブルー®はドイツ自動車工業会（VDA）の登録商標です。

(注) 業績予想数値は2025年3月期決算説明資料(2025年5月15日発表)P19に記載

機能性材料セグメント

ディスプレイ材料では、「サンエバー」（液晶配向材用ポリイミド）が増収となりました。半導体材料は、半導体用反射防止コーティング材（ARC®）および多層材料（OptiStack®）が大幅な増収となりました。無機コロイドは、「スノーテックス」（電子材料用研磨剤、各種表面処理剤等）が増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は544億17百万円（前年同期比58億5百万円増）、営業利益は173億67百万円（同28億38百万円増）となりました。業績予想(注)比では、売上高は24億円の上ぶれ、営業利益は11億円の上ぶれとなりました。

* ARC®, OptiStack®はBrewer Science, Inc. の登録商標です。

(注) 業績予想数値は2025年3月期決算説明資料(2025年5月15日発表)P19に記載

農業化学品セグメント

フルララネル（動物用医薬品原薬）は前年並みの売上となりました。国内向け農薬は、米価高騰に伴う需要の高まりを背景に、「アルテア」（水稻用除草剤）が伸長しました。海外向け農薬は、「ライメイ」（殺菌剤）や「タルガ」（除草剤）が好調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は422億73百万円（前年同期比30億82百万円増）、営業利益は119億75百万円（同24億31百万円減）となりました。業績予想(注)比では、売上高は36億円の上ぶれ、営業利益は3億円の上ぶれとなりました。

（注）業績予想数値は2025年3月期決算説明資料(2025年5月15日発表)P19に記載

ヘルスケアセグメント

「リバロ」（高コレステロール血症治療薬）原薬は、海外向けが増収となりました。「ファインテック」（課題解決受託事業および共同開発型事業）は、減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は28億31百万円（前年同期比4億63百万円減）、営業利益は6億95百万円（同5億92百万円減）となりました。業績予想(注)比では、売上高、営業利益ともに2億円の上ぶれとなりました。

（注）業績予想数値は2025年3月期決算説明資料(2025年5月15日発表)P19に記載

卸売セグメント

当セグメントの売上高は587億92百万円（前年同期比25億26百万円増）、営業利益は19億55百万円（同67百万円減）となりました。業績予想(注)比では、売上高は22億円の上ぶれ、営業利益は4億円の上ぶれとなりました。

（注）業績予想数値は2025年3月期決算説明資料(2025年5月15日発表)P63, 64に記載

その他のセグメント

当セグメントの売上高は148億45百万円（前年同期比28億7百万円増）、営業利益は7億89百万円（同7億55百万円増）となりました。

(2)財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当中間連結会計期間末の総資産は、現預金が増加しましたが、売上債権が減少したことなどにより、前連結会計年度末比85億24百万円減の3,222億38百万円となりました。

負債は、短期借入金やコマーシャル・ペーパーが減少したことなどから、前連結会計年度末比137億9百万円減の808億72百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末比51億85百万円増の2,413億66百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比3.4ポイント増加し、73.9%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益、減価償却費、運転資金の増減などから法人税等の支払額を控除した結果、487億11百万円の収入（前年同期は461億53百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、工場などの設備投資による支出などにより、80億85百万円の支出（前年同期は70億46百万円の支出）となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローでは、配当金の支払、借入金の返済、自己株式の取得による支出などにより、350億41百万円の支出（前年同期は310億87百万円の支出）となりました。

現金及び現金同等物の中間期末残高は、換算差額の増加額12億34百万円を調整した結果、前連結会計年度末に比較して68億19百万円増加しており、342億74百万円（前年同期は304億49百万円）となりました。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想に関しましては、中間連結会計期間及び足元での需要予測をもとに、前回発表予想数値を以下の通り修正いたしました。第3四半期以降の為替については、1米ドル145円を前提としております。

2026年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(単位：億円)

	前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(ご参考) 前期実績
売上高	2,622	2,722	+100	3.8%	2,514
営業利益	576	590	+14	2.4%	568
経常利益	573	590	+17	3.0%	580
親会社株主に帰属する 当期純利益	431	440	+9	2.1%	430
1株当たり 当期純利益	319円43銭	328円22銭	+8円79銭	2.8%	313円26銭

2026年3月期 通期セグメント別連結売上高及び営業利益予想数値の修正

(単位：億円)

	売上高		営業利益	
	前回発表予想	今回発表予想	前回発表予想	今回発表予想
化学品	401	396	12	8
機能性材料	1,060	1,097	309	321
農業化学品	920	959	253	260
ヘルスケア	52	53	14	15
卸売	1,210	1,216	34	36
その他	315	318	12	15
調整額	△1,336	△1,317	△58	△65
計	2,622	2,722	576	590

(4)利益配分に関する基本方針

当社は、中長期的に事業収益を拡大し、財務体質を強化することで企業価値の向上に努め、株主の皆様への積極的な還元を図ってまいります。

なお、2025年4月に始動した中期経営計画「Vista2027」のStage IIでは、2025年度以降は配当性向を55%以上、総還元性向を75%以上とすることを目標としております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,454	34,274
受取手形、売掛金及び契約資産	89,131	73,875
商品及び製品	57,505	58,149
仕掛品	19	257
原材料及び貯蔵品	22,624	21,189
未収入金	2,146	1,815
短期貸付金	2,257	573
その他	9,277	6,869
貸倒引当金	△64	△66
流動資産合計	210,352	196,939
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	89,171	91,478
減価償却累計額及び減損損失累計額	△55,383	△56,433
建物及び構築物(純額)	33,788	35,044
機械装置及び運搬具	176,436	179,667
減価償却累計額及び減損損失累計額	△155,323	△158,526
機械装置及び運搬具(純額)	21,113	21,140
工具、器具及び備品	45,732	48,466
減価償却累計額及び減損損失累計額	△41,561	△42,141
工具、器具及び備品(純額)	4,170	6,324
土地	8,867	8,866
リース資産	123	123
減価償却累計額	△10	△13
リース資産(純額)	113	110
建設仮勘定	4,370	4,349
有形固定資産合計	72,424	75,835
無形固定資産		
ソフトウェア	3,511	3,400
その他	9,951	9,439
無形固定資産合計	13,463	12,840
投資その他の資産		
投資有価証券	24,353	26,461
長期貸付金	133	123
繰延税金資産	567	592
退職給付に係る資産	4,782	4,778
その他	4,742	4,723
貸倒引当金	△56	△55
投資その他の資産合計	34,523	36,624
固定資産合計	120,411	125,299
資産合計	330,763	322,238

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,877	20,565
短期借入金	19,987	11,073
コマーシャル・ペーパー	8,996	3,998
1年内返済予定の長期借入金	514	448
未払法人税等	9,957	6,592
賞与引当金	2,576	2,730
関係会社事業損失引当金	213	12
その他	17,096	19,214
流動負債合計	79,218	64,635
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	977	579
繰延税金負債	1,063	2,155
役員株式給付引当金	264	258
退職給付に係る負債	542	601
その他	2,515	2,643
固定負債合計	15,363	16,237
負債合計	94,582	80,872
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,942	18,942
資本剰余金	13,613	13,613
利益剰余金	192,928	201,568
自己株式	△2,590	△9,055
株主資本合計	222,893	225,068
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,035	8,576
為替換算調整勘定	1,788	2,902
退職給付に係る調整累計額	1,573	1,468
その他の包括利益累計額合計	10,397	12,947
非支配株主持分	2,889	3,350
純資産合計	236,180	241,366
負債純資産合計	330,763	322,238

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	118,185	130,094
売上原価	61,267	68,253
売上総利益	56,918	61,840
販売費及び一般管理費	28,573	32,242
営業利益	28,344	29,598
営業外収益		
受取利息	126	84
受取配当金	465	1,086
持分法による投資利益	143	161
その他	884	447
営業外収益合計	1,619	1,779
営業外費用		
支払利息	345	222
固定資産処分損	342	565
社債発行費	53	0
休止損	249	127
為替差損	833	447
その他	193	226
営業外費用合計	2,019	1,589
経常利益	27,945	29,788
特別利益		
条件付対価受入益	821	—
特別利益合計	821	—
特別損失		
特別損失合計	—	—
税金等調整前中間純利益	28,767	29,788
法人税、住民税及び事業税	8,435	6,191
法人税等調整額	143	432
法人税等合計	8,579	6,624
中間純利益	20,187	23,164
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	△334	336
親会社株主に帰属する中間純利益	20,522	22,827

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	20,187	23,164
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△271	1,540
為替換算調整勘定	△1,199	1,343
退職給付に係る調整額	△71	△105
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△1,543	2,779
中間包括利益	18,644	25,943
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	19,108	25,377
非支配株主に係る中間包括利益	△463	566

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	28,767	29,788
減価償却費	6,145	6,892
条件付対価受入益	△821	—
のれん償却額	18	68
受取利息及び受取配当金	△591	△1,170
支払利息	345	222
固定資産処分損益 (△は益)	342	565
売上債権の増減額 (△は増加)	19,831	15,649
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,306	829
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,420	356
その他	3,200	3,190
小計	50,511	56,392
利息及び配当金の受取額	1,792	2,058
利息の支払額	△326	△219
法人税等の支払額	△5,823	△9,519
営業活動によるキャッシュ・フロー	46,153	48,711
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△66	△115
投資有価証券の売却による収入	1	—
子会社株式の売却による収入	276	—
有形固定資産の取得による支出	△8,533	△8,477
有形固定資産の除却による支出	△330	△327
無形固定資産の取得による支出	△981	△605
条件付対価の決済による収入	2,633	—
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	453	1,671
長期前払費用の取得による支出	△551	△39
その他	51	△192
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,046	△8,085
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△22,724	△8,776
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	—	△4,997
長期借入金の返済による支出	△317	△464
社債の発行による収入	10,000	—
配当金の支払額	△13,043	△14,187
非支配株主への配当金の支払額	—	△105
自己株式の取得による支出	△5,000	△6,499
その他	△2	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△31,087	△35,041
現金及び現金同等物に係る換算差額	△325	1,234
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,694	6,819
現金及び現金同等物の期首残高	22,738	27,454
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	17	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	30,449	34,274

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年7月30日の取締役会にて決議された「株式給付信託(BBT)」において、2025年4月25日および2025年7月25日付で対象者へ7,200株の株式給付を行いました。この結果、当中間連結会計期間において、自己株式が34百万円減少しております。また、2025年3月6日および2025年5月15日の取締役会決議に基づき、1,434,100株の自己株式の取得を行いました。この結果、当中間連結会計期間において、自己株式が6,498百万円増加しております。

(追加情報)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であった日本ポリテック株式会社については、連結財務諸表作成にあたり、同日現在の財務諸表を使用し連結決算日との間に生じた連結会社間の重要な取引の連結上必要な調整を行ってまいりました。当中間連結会計期間より、当該連結子会社の決算日を連結決算日と同一の3月31日に変更したことから、当連結会計年度の連結財務諸表作成にあたっては、2025年1月1日から2025年3月31日までの損益は連結損益計算書を通して調整する方法を採用し、当連結会計年度における連結対象期間は2025年1月1日から2026年3月31日までの15カ月間となります。

なお、この変更による影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

1) 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)2	中間連結 損益計算 書計上額
	化学品 事業	機能的 材料事業	農業 化学品 事業	ヘルス ケア 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
(1)外部顧客に対する 売上高(注)1	11,850	36,002	32,141	3,220	42,955	4,526	130,696	△12,510	118,185
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,001	12,608	7,049	74	13,311	7,512	46,557	△46,557	—
計	17,851	48,611	39,190	3,294	56,266	12,038	177,253	△59,067	118,185
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損失)	△292	14,528	14,406	1,288	2,022	34	31,987	△3,642	28,344

(注) 1. 報告セグメントの外部顧客に対する売上高は、代理人取引となる売上高についても総額で算定しております。
代理人取引となる売上高を純額とするための調整は、調整額に含めております。

2. 調整額は以下のとおりです。

- (1)外部顧客に対する売上高の調整額△12,510百万円には、代理人取引消去△12,723百万円と、各報告セグメントに帰属していない売上高212百万円が含まれております。
- (2)セグメント利益の調整額△3,642百万円には、セグメント間取引消去△707百万円、各報告セグメントに帰属していない売上高214百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△3,149百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2) 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)2	中間連結 損益計算 書計上額
	化学品 事業	機能的 材料事業	農業 化学品 事業	ヘルス ケア 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
(1)外部顧客に対する 売上高(注)1	12,467	39,430	36,661	2,783	44,404	6,835	142,582	△12,488	130,094
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,362	14,986	5,611	48	14,388	8,010	49,407	△49,407	—
計	18,830	54,417	42,273	2,831	58,792	14,845	191,990	△61,896	130,094
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損失)	△97	17,367	11,975	695	1,955	789	32,685	△3,086	29,598

(注) 1. 報告セグメントの外部顧客に対する売上高は、代理人取引となる売上高についても総額で算定しております。
代理人取引となる売上高を純額とするための調整は、調整額に含めております。

2. 調整額は以下のとおりです。

- (1)外部顧客に対する売上高の調整額△12,488百万円には、代理人取引消去△12,526百万円と、各報告セグメントに帰属していない売上高37百万円が含まれております。
- (2)セグメント利益の調整額△3,086百万円には、セグメント間取引消去△130百万円、各報告セグメントに帰属していない売上高37百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△2,994百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

当中間連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に反映させるため、一部の全社費用の配賦方法を見直しております。なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の配賦方法に基づき作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

当社は、2025年10月29日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議し、自己株式の消却を実施いたしました。

- | | |
|---------------|---|
| (1) 消却する株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 消却する株式の数 | 1,000,000 株
(消却前発行済株式総数に対する割合 0.73%) |
| (3) 消却日 | 2025年11月10日 |

(ご参考)

消却後の発行済株式総数 135,800,000 株 (自己株式を含む)